

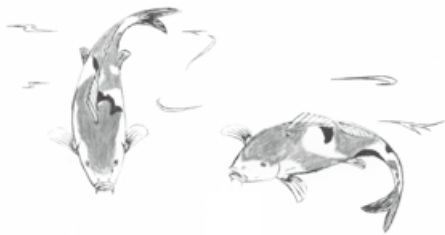
---

# 慈 恵

---



平成30年 No.64



# 秋

宗教法人 慈 恵 院 付属 多摩犬猫霊園

鑑賞



人性含霊

(人の性は霊を含む)

明治己卯晚秋 海舟勝安芳

「三舟と南洲の書」より

勝 海舟 【勝安芳】

幕末・明治の政治家、名は義邦、通称、麟太郎。海舟と号。安房守であったから安房と称し、後に安芳と改めた。オランダ人を師として海軍の事を学ぶ。幕府側代表として江戸城明渡しを果し、公武の間に周旋して江戸を兵火から救った。後、参議・海軍卿・枢密顧問官。著「海軍歴史」上「陸軍歴史」下、自伝「永川清話」など。(二八三―二八九)

坐禅中の雑念をどうしたらよろしいか

法話の終わったあと、年ごろ十四、五の小僧が盤珪に質問した。

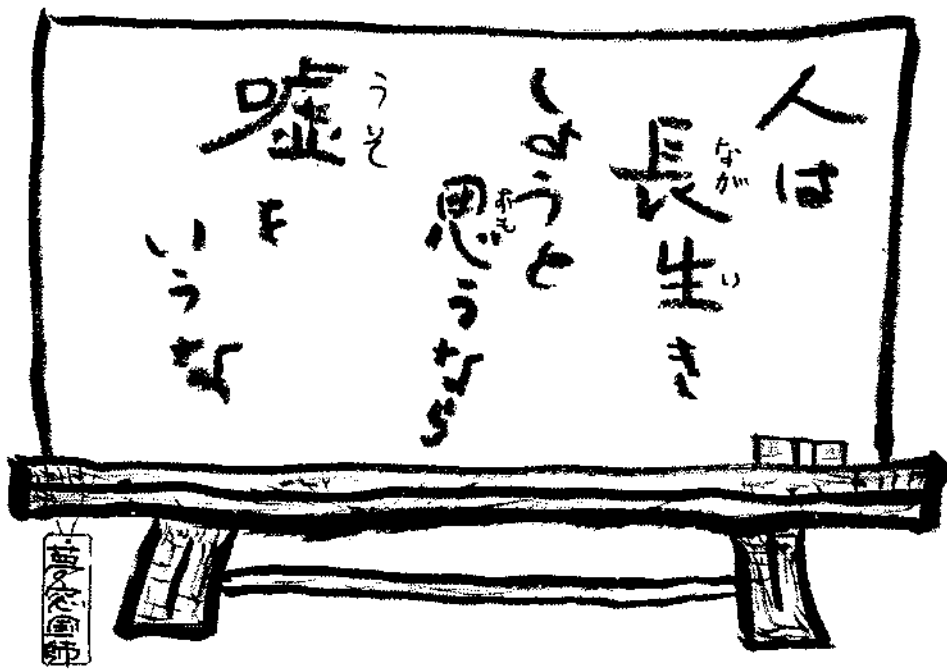
「坐禅をしておりますと、次から次へと雑念が出てきますが、どうしたらよろしいでしょうか」

「いろいろさまざまに起こってくる念を、それぞれにわきまえ知ることが仏心の徳用でござる。仏心は不生にして、しかも霊明なものであるから、わが胸の内にあるものが自然に浮かび出てくるのだ。仏心には念と物とがないから、その念を払おうとも、止めようとも思わず、取りあわないでおれば、それで自然に不生の仏心になうことになるのじゃ」

盤珪永琢 (一六二二〜一六九三)

臨済宗。播磨の人。赤穂随鷗寺の雲甫について出家。諸方歴参のち二十六歳で大悟、不生禅を唱導した。美濃玉龍庵、赤穂興福寺などに住した。慶安四年、長崎に道者超元が来朝すると、行つてその指導を受けた。のち伊予に遍照庵を創建、浜田の龍門寺を再興し、妙心寺に出世した。

掲示板





### 亡くなった先住犬 の導きか？

小平市 小林みち子(70)

四歳のコーギー犬の里親になつた子が十五歳五ヶ月で家族に看取られ静かに息を引取つた。私達を癒やしてくれ、私達も愛情たっぷりと接した。この子が亡くなってからの悲しみは、散歩道を歩いただけでも涙がこみあげてきた。この悲しみは二度と味わいたくないと思つていた。

しかし一周忌の法要を済ませてからというもののポカンと

穴のあいた心にネット上の犬の里親掲示板を何げに見てコーギー犬は、いないと思いつく。ペー지를たぐつていった時、思わず「あつ！」と思つた。亡くなつた犬に良く似たコーギーを見つけてしまったのだ。  
”コーギー5歳女の子繁殖犬引退で殺処分前をレスキューした”と書かれていた。昨年11月からの掲載犬なのでもういないかと思いつつレスキューボランティアの方にメールをしてみた。「まだいます」とすぐにメールが返つてきた。家族で話し合い悩んで考えた結果、もらい受ける事に決定。東京にいるとばかり思ひ込んでいた私達は、この犬が、兵庫県の施設預りと聞いてびつくり、羽田空港まで迎えに行く事、不妊手術を3月22日受けた後、25日に手術糸のついたまま飛行機に乗せてカーゴ貨物としてくるという事、先にもらつた亡犬とは、あまりにも違う犬生。5年間オリの中に入れられっぱなしでひたすら子犬を産むだけに人間に使われてきた犬。羽田から約一時間半クレートの中で一言も泣かず大人しくしていたワン子。家についてクレートのドアを開けてゴハンと水を前に置くとそつと出てきてパクパクと食べ、水をガブガブ飲み、私達家族の手をペロペロとなめ、その日からなついてくれた。5歳の女の子と云うだけで名前も誕生日もないこの子を「マロン」と名付け羽田に来た3月25日を誕生日に決めた。今まで辛かつた分これからは幸せな家族犬として生活させてあげたい。この縁は、亡くなつた先住犬

が導いてくれたと思います。

マロン女の子



2013年3月25日生まれ

5才にして引取り  
家族に迎える

アイン男の子



2017年1月15日亡くなった  
アイン

4才にして引取り  
15才5ヶ月にして  
そくほる

リンちゃんの夢

内山動物病院

獣医師 星野 浩子

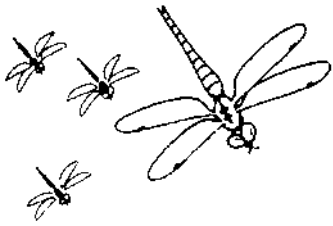
リンちゃんは病院に居候する1匹の老猫です。飼い主さんに先立たれ、病院暮らしをしています。

ある日一本の電話が鳴りました。一人暮らしをされていた飼い主さんが入院しており、親戚が家を整理しにいらした。猫が捕まらな  
いとこの問い合わせでした。リンちゃんは持病があり、定期的に検診をして、お薬を処方している猫ちゃん

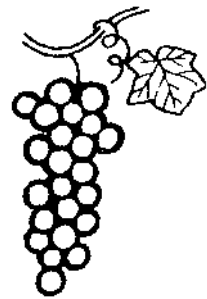
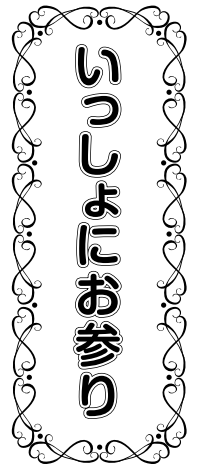
てしまっていました。それからリンちゃんは病院預かりとなりましたが、お薬の効果もあり体調を回復しました。写真を撮って飼い主さんの入院先へお届けしたところ、安堵され、またリンちゃんとの暮らしを目標に闘病されました。ですがその願いは叶うことなく永遠の別れとなってしまいました。残されてしまったリンちゃんは飼い主さんを探しながら今でも病院猫として穏やかに暮らしています。きっと飼い主さんにも見守られているような気がしています。

動物と暮らすということは、沢山の愛と喜びがあります。動物の死と向き合わなければならない事もあります。思いがけない事故や病気で愛する動物が岐路に立たされる事もあります。そんな時のためにも、周りのご家族やお友達、かかりつけの病院などとも、愛おしい家族の事を一緒にお話していただいておくといいのかなと感じています。

リンちゃんは眠る時間が増えてきました。温かかった飼い主さんと夢で会えているのかもしれないね。



内田乃愛ちゃん(6才♀) ▶



◀ 宮本桃吉ちゃん(1才♂)  
こはるちゃん(18才♀)

作文募集

- ペットとの思い出、出来事など作文にしてお寄せ下さい。(800字以内)
- 尚、作文には題名を必ずご記入下さい。
- 応募作品は返却いたしません。
- 住所・氏名・年齢・電話を明記し、慈恵院編集部宛お送り下さい。掲載は随時とさせていただきます。